

# 平成30年度 国東市：全国学力・学習状況調査結果（中学校：国語）

## 1 結果のポイント

正答率	中学校：国語	
	国語A	国語B
国東市	77	61
大分県	77	62
全国	76.1	61.2

分類	国東市	大分県	全国	
	国語A	話すこと・聞くこと	75.7	75.2
書くこと		72.5	74.8	73.9
読むこと		76.6	77.1	76.7
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項		78.3	77.2	76.5
国語B	話すこと・聞くこと	75.3	76.3	76.6
	書くこと	35.7	32.4	31.3
	読むこと	53.4	54.1	53.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	61.5	52.7	49.2

・全国平均との比較では、国語Aは+0.9ポイント（昨年度：-0.7ポイント）で全国平均を上回り、国語Bは-0.2ポイント（昨年度：+2.3ポイント）となった。

（ただし、市・県の数値は少数第一位を四捨五入）

・当該学年が小学校第6学年の時の全国平均との差を比較すると、国語Aでは-1.2ポイント、国語Bでは-2.1ポイントとなっている。

・領域別では、国語Aにおいては「書くこと」-1.4ポイント、「読むこと」-0.1ポイントとなっている。国語Bにおいては、「話すこと・聞くこと」で-1.3ポイント、「読むこと」-0.1ポイントという結果となっている。

## 2 課題が見られた問題と指導の改善事項

### 国語A ② 図書だよりを作成する

#### 設問二

①趣旨 伝えたい事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように書くことができるかどうかをみる。

◆学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕B 書くこと

ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。《記述》

#### ②解答類型と反応率

#### ② 二

生徒数の割合（％）

設問の概要	国東市	全国
二つの意見の内容を一文で書き加える		
◎ 1 条件①, ②, ③を満たして解答しているもの	55.7	64.4
2 条件①, ②を満たし, 条件③を満たさないで解答しているもの	4.2	3.8
3 条件①, ③を満たし, 条件②を満たさないで解答しているもの	3.1	1.1
4 条件②, ③を満たし, 条件①を満たさないで解答しているもの	28.1	23.2
5 上記以外の解答	7.3	4.6
6 無解答	1.6	3.3

◎が正答

◆正答について

次の条件を満たして解答している。

- ① 【意見1】と【意見2】の両方の内容を取り入れて書いている。
- ② 「なお、市立図書館では、」に適切に続けて、伝えたいことが分かるように書いている。
- ③ 三十字以内の一文で書いている。

#### ◆分析と課題

○ 解答類型4の反応率は28.1%である。具体的な例としては、以下のようなものがある。

(例)

- ・(なお、市立図書館では,) パソコンを利用するには、受付で申し込むとよい。(。)(22字)
- ・(なお、市立図書館では,) パソコンが設置されていますが、数に限りがあります。(。)(24字)

このように解答した生徒は、【意見1】の「パソコンを利用するには、受付で申し込めばよいこと」という内容と、【意見2】の「パソコンは、数に限りがあること」という内容のどちらか一方しか書くことができていない。

(例)

- ・(なお、市立図書館では,) 受付で申し込めますが、数に限りがあるのでお気を付けてください。(。)
- ・(なお、市立図書館では,) 数に限りがあるので利用を希望する人は受付で申し込んでください。(。)

このように解答した生徒は、読み手に伝える必要がある事実や事柄を踏まえて、「受付で申し込むものや、「数に限りがある」ものがパソコンであることを明らかにして書くことができていない。

(例)

- ・(なお、市立図書館では,) パソコンが利用できますが、数に限りがあります。(。)(22字)

このように解答した生徒は、読み手に伝える必要がある事実や事柄を踏まえて、【意見1】の「(市立図書館のパソコンを利用するには,) 受付で申し込めばよい」ことを明らかにして書くことができていない。

#### ③指導の改善事項 目的や意図に応じて説明や具体例を書き加える

伝えたい事実や事柄、意見などを相手に効果的に伝えるためには、目的や意図に応じて説明や具体例を書き加えたり、表現しようとする内容に最もふさわしい語句を選んで描写を工夫したりするように指導することが大切である。例えば、係からの報告や記録の文章に不足している情報や、付け加えた方がよい情報について検討し、実際に説明や具体例を書き加えるなどの学習活動が考えられる。その際、第1学年〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕(1)の「イ言葉の特徴やきまりに関する事項」(エ)との関連を図り、指示語や接続詞及びこれら同じような働きをもつ語句などに注意するように指導することも有効である。

指導に当たっては、平成21年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B 1 三アに係る授業アイデア例「身近な資料を用いて、表現の仕方や文章の特徴をとらえ、自分の表現に役立てることができるようにする。」、平成22年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A 9 二に係る授業アイデア例「相手に応じた適切な表現で案内文を書くことができるようにする。」、平成24年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B 2 三に係る授業アイデア例「資料に書かれている情報の中から必要な内容を選び、伝えたい事柄が明確に伝わるように書くことができるようにする。」、平成25年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A 3 二に係る授業アイデア例「合唱コンクール必勝法を伝えるポスターを書く」、平成27年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A 7 二に係る授業アイデア例「問合せのメールに回答する」、平成28年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B 1 三に係る授業アイデア例「係の活動への協力を呼びかけるちらしを作る」も参考になる。

(参照)

「平成21年度【中学校】授業アイデア例」P. 3 「平成21年度【中学校】報告書」P. 214

「4年間のまとめ【中学校編】」P. 102 「平成22年度【中学校】授業アイデア例」P. 2

「平成22年度【中学校】報告書」P. 136 「平成24年度【中学校】報告書」P. 199

「平成25年度【中学校】授業アイデア例」P. 13～P. 14 「平成27年度【中学校】授業アイデア

例」P. 3

「平成28年度【中学校】授業アイデア例」P. 5～P. 6

#### 国語A 6 話し合いをする

##### 設問二

①趣旨 ・話し合いの話題や方向を捉えて的確に話すことをみる

◆学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕A 話すこと・聞くこと

オ 話し合いの話題や方向をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること。《話し合うこと》

②解答類型

6 二	設問の概要	生徒数の割合 (%)	
		国東市	全国
	話し合いの中で確認しなければならないことについての司会としての発言を書く		
◎1	条件①, ②を満たして解答しているもの	63.5	65.8
2	条件①を満たし, 条件②を満たさないで解答しているもの	0.0	0.1
3	条件②を満たし, 条件①を満たさないで解答しているもの	22.9	17.8
4	上記以外の解	5.2	3.0
5	無解答	8.3	13.3

◎が正答

◆正答について

(正答の条件)

次の条件を満たして解答している。

- ① 黒川さんと木村さんのそれぞれの理由を確認しなければならないことが分かるように書いている。
- ② 「黒川さんと木村さんは、」に続けて、実際に話すように適切に書いている。

◆分析と課題

○ 解答類型3の反応率は22.9%である。具体的な例としては、以下のようなものがある。

(例)

- ・(黒川さんと木村さんは,) どう思いますか (。)
- ・(黒川さんと木村さんは,) 確認しなければならないことがあります (。)

このように解答した生徒は、司会である谷さんの「意見を述べる際には、その方法がよいと考える理由も言ってください。」という発言に着目することができていなかったり、黒川さんと木村さんの発言に理由が不足していることを捉えることができていなかったりするものと考えられる。また、黒川さんと木村さんの発言に理由が不足していることは捉えられてはいるが、相手に伝わるように表現することができていないものとも考えられる。

③指導の改善事項 話し合いの話題や方向を捉えて話し合う

話し合いをする際には、司会や議長の立場で直接話し合いを進行していく場合はもとより、それ以外の立場で参加する場合にも、話し合いが課題の解決に向かうように進め方を提案したり、話し合いが効率よく進むように協力したりするように指導することが大切である。その際、話し合いの目的、話題や方向を的確に捉えて話したり聞いたりするように指導することが重要である。例えば、話し合いの様子を動画で記録し、それぞれの立場における発言の意図や効果について考えるなどの学習活動が有効である。

指導に当たっては、平成24年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B 1三に係る授業アイデア例「対談を読んで考えたことを基に座談会を行う。」、平成25年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A 1二に係る授業アイデア例「話し合いの動画を見ながら、司会の役割を話し合う」も参考になる。

(参照)

「平成24年度【中学校】授業アイデア例」P.3～P.4

「平成24年度【中学校】報告書」P.188～P.189

「平成25年度【中学校】授業アイデア例」P.7

## 国語A 8 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

### 設問三

①趣旨 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことができるかどうかをみる。

#### ◆学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ

(ウ) 事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、話や文章の中の語彙について関心をもつこと。

〔第2学年〕伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ

(イ) 抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにすること。

②解答類型と反応率

### 8 エ

生徒数の割合 (%)

設問の概要		国東市	全国
適切な語句を選択する (彼はせきを切ったように話し始めた)			
1	1と解答しているもの	17.7	22.3
◎2	2と解答しているもの	37.0	29.2
3	3と解答しているもの	8.3	10.3
4	4と解答しているもの	37.0	37.4
6	無解答	0.0	0.0

#### ◆分析と課題

エの解答類型1の反応率は17.7%、解答類型3の反応率は8.3%、解答類型4の反応率は37.0%である。このように解答した生徒は、「せきを切る」という言葉になじみがなく、意味が理解できないものと考えられる。また、「くうを切る」の意味や用法を正しく捉え、文脈に即して適切に使ったり、「水気を切る」、「紙を切る」という表現の意味を踏まえて適切に使ったりすることに課題がある。

③指導の改善事項 場面に即した語句を活用する指導の工夫

語感を磨き語彙を豊かにするためには、語句の意味を辞書や資料集などを用いて確認するだけでなく、話や文章の中で実際に使用するように指導することが大切である。その際、取り上げようとする語句について他に適切な表現がないかを考えたり、複数の語句を比べてどれが最もふさわしい表現かを検討したりすることも効果的である。同音異義語については、読み方だけでなく、漢字一字一字の意味を確認しながら熟語の意味について考えることが大切である。場面に即した語句を選択し、活用することができるようになるためには、例えば、以下のような学習活動が考えられる。

- ・気になった語句をノートに書き留め、その語句を使った短文を作ったり、話や文章の中で使ったりする。
- ・文学的な文章の学習で、登場人物の人物像などを四字熟語や慣用句を用いて表す。

指導に当たっては、平成21年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A8三に係る授業アイデア例「語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことができるようにする。」、平成24年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A7三に係る授業アイデア例「語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことができるようにする。」、平成26年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A8三に係る授業アイデア例「言葉を集め、言葉カレンダーを作ろう」、平成29年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A9五に係る授業アイデア例「自分が使ってみたい語句についてスピーチをする」も参考になる。(参照)

「平成21年度【中学校】授業アイデア例」P.2 「平成21年度【中学校】報告書」P.200

「4年間のまとめ【中学校編】」P.110 「平成24年度【中学校】報告書」P.162

「平成26年度【中学校】授業アイデア例」P.8

「平成29年度【中学校】授業アイデア例」P.4

## 設問四 2

①趣旨 目的に応じて文の成分の順序や照応，構成を考えて適切な文を書くことができるかどうかをみる。

### ◆学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ

(ウ) 文の中の文の成分の順序や照応，文の構成などについて考えること。

②解答類型と反応率

## 8 四 2

生徒数の割合 (%)

設問の概要	国東市	全国
「心を打たれた。」を文末に用いた一文を、主語を明らかにし、「誰（何）」の「どのようなこと」に「心を打たれた」のかが分かるように書く		
◎ 1 条件①，②，③，④，⑤を満たして解答しているもの	28.6	22.3
2 条件①，②，③，④を満たし，条件⑤を満たさないで解答しているもの	0.0	0.1
3 条件①，②，③，⑤を満たし，条件④を満たさないで解答しているもの	0.0	0.7
4 条件①，②，④，⑤を満たし，条件③を満たさないで解答しているもの	5.2	1.1
5 条件①，③，④，⑤を満たし，条件②を満たさないで解答しているもの	59.9	63.5
6 条件②，③，④，⑤を満たし，条件①を満たさないで解答しているもの	0.5	0.6
7 上記以外の解答	4.2	5.1
8 無解答	1.6	6.5

◎が正答

### ◆正答について

次の条件を満たして解答している。

- ① 「心を打たれた」の正しい意味を理解して書いている。\* 条件①は，設問四 1 で正答しているかどうかで判断する。
- ② 「心を打たれた」の主語を明確にして書いている。
- ③ 「誰（何）」のことに「心を打たれた」のかが分かるように書いている。
- ④ 「どのようなこと」に「心を打たれた」のかが分かるように書いている。
- ⑤ 一文で書いている。

### ◆分析と課題

○ 平成 27 年度全国学力・学習状況調査【小学校】国語 A 2 一では、「文の中における主語を捉えることができるかどうかをみる」問題（正答率 53.4 %）に課題が見られた。これを踏まえて，目的に応じて文の成分の順序や照応，構成を考えて適切な文を書く問題を出題したところ，正答率は 28.6 %であった。今回の結果から，文の中における主語を捉えたり，主語を明示しながら適切に表現したりすることに引き続き課題があると考えられる。

○ 解答類型 5 の反応率は 59.9 % である。具体的な例としては，以下のようなものがある。

(例)

- ・親友の勇気ある行動に（心を打たれた。）
- ・映画の最後のシーンに（心を打たれた。）
- ・ピアノを上手に演奏している彼に（心を打たれた。）
- ・サッカーの試合で，最後まで諦めずにプレーする選手たちに（心を打たれた。）

このように解答した生徒は，「心を打たれる」という言葉の意味が理解できており，「誰（何）」の「どのようなこと」に「心を打たれた」のかが分かるように書くことはできているが，主語と述語の照応の理解については課題がある。

### ③指導の改善事項 文の成分の順序や照応に注意して書く

文を書く際には，文の成分の順序や主語と述語の照応などを整え，伝えたいことが相手に適切に伝わるように書くことができているかを常に吟味するように指導することが大切である。例えば，心の動きや，身の回りの様々な物事などについて具体的な内容を盛り込んだ文を書き，伝えたいことを適切に表現するための語順や語の照応について検討するなどの学習活動が考えられる。また，「書くこと」の学習との関連を図り，推敲の際の観点の一つとして取り入れることも効果的である。

指導に当たっては，平成 21 年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語 A 1 一に係る授業アイデア

例「推敲の観点に基づいて、推敲の仕方を身に付けることができるようにする。」も参考になる。

(参照)

「平成 21 年度【中学校】授業アイディア例」P.1 「平成 21 年度【中学校】報告書」P.169

## 国語 B 1 説明的な文章を読む

### 設問一

①趣旨 文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉えることができるかどうかをみる。

◆学習指導要領における領域・内容

〔第 1 学年〕C 読むこと

イ 文章の中心的な部分と付加的な部分，事実と意見などを読み分け，目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。《文章の解釈》

②解答類型

1 一	設問の概要	生徒数の割合 (%)	
		国東市	全国
	グラフからわかることについて文章中で説明しているものとして適切なものを選択する		
1	1 と解答しているもの	40.1	40.6
2	2 と解答しているもの	5.7	6.5
◎ 3	3 と解答しているもの	45.8	45.9
4	4 と解答しているもの	8.3	6.9
5	上記以外の解答	0.0	0.0
6	無解答	0.0	0.2

◎が正答

◆分析と課題

○ 解答類型 1 の反応率は 40.1 % である。このように解答した生徒は，文章の「全体では」という表現で始まる段落と《全体》のグラフ，文章の「年齢別に見ると」という表現で始まる段落と《年代別》のグラフをそれぞれ結び付けながら読み，内容を正しく捉えることができているものと考えられる。

○ 全国調査において，A 5 二と本設問ともに誤答であった生徒は全体の 23.7 % である。これは，文章と図表などに関連させて内容を捉えることができているものと考えられる。本市でも同様の傾向があると思われる。

③指導の改善事項 文章と図表などとの関係を捉え，内容を的確に理解する

グラフや図表，写真やイラストなどが用いられている文章を読む際には，文章の構成や展開を適切に把握し，それぞれの図表などが文章のどの部分と関連しているのかを捉えるように指導することが大切である。また，書き手が図表などを用いた意図や読み手に与える効果について考えるように指導することも重要である。例えば，図表などが用いられた説明や記録の文章を読み，図表などが文章の中心的な部分，又は付加的な部分のどの部分と関連しているのかを確認し，互いに説明し合うなどの学習活動が考えられる。また，図表などを用いた説明や記録の文章を書くなど，「書くこと」の学習との関連を図ることも有効である。

指導に当たっては，平成 24 年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語 A 6 二に係る授業アイディア例「目的に応じて必要な情報を読み取ることができるようにする。」，「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力，判断力，表現力等の育成に向けて～【中学校版】」国語一 4 「文章と図表との関係を読み解こう」も参考になる。

(参照)

「平成 24 年度【中学校】授業アイディア例」P.2 「平成 24 年度【中学校】報告書」P.150  
「言語活動事例集【中学校版】」P.25～P.26

国語B 1 説明的な文章を読む

設問三

①趣旨 目的に応じて文章を読み、内容を整理して書くことができるかどうかをみる。

◆学習指導要領における領域・内容

[第2学年] B 書くこと

ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。《記述》

[第1学年] C 読むこと

イ 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。《文章の解釈》

②解答類型

1 三

生徒数の割合 (%)

設問の概要	生徒数の割合 (%)	
	国東市	全国
「天地無用」という言葉を誤った意味で解釈してしまう人がいる理由を書く		
◎ 1 条件①, ②を満たして解答しているもの	9.9	13.3
2 条件①を満たし, 条件②を満たさないで解答しているもの	21.9	18.6
3 条件②を満たし, 条件①を満たさないで解答しているもの	18.8	20.1
4 上記以外の解答	46.9	40.7
5 無解答	2.6	7.0

◎が正答

◆正答について

次の条件を満たして解答している。

- ① 以下の a, b のうち、一つ以上の内容を適切に取り上げて書いている。
  - a 「してはならないこと」という意味を表す際に、現在は「無用」以外の表現を用いるようになっている。
  - b 「無用」という言葉に「してはならないこと」という意味での使い方があること自体が、分かりにくくなっている。
- ② 以下の a, b のうち、一つ以上の内容を適切に取り上げて書いている。
  - a 「天地無用」には、「逆にする」に当たる内容が省略されている。
  - b 「逆にすること」が省略されていることに気付かないと、「天地無用」の「無用」の意味を、「してはならないこと」以外の意味で捉えてしまう。

◆分析と課題

- この文章では、「天地無用」を誤った意味で受け取る人が多い理由について、複数の段落を設け、「また」という接続詞を用いて大きく二つ述べている。そのような文章の構成や展開に着目しながら、目的に応じて文章を読み、内容を的確に捉えてまとめることが求められる。
- 解答類型2の反応率は21.9%である。具体的な例としては、以下のようなものがある。  
(例)
  - ・「無用」は「してはならないこと」という意味だが、現在は、「禁止」という言葉を用いたり、丁寧に書かれたりするようになった。そのために、「してはならないこと」という意味での使い方があること自体、分かりにくくなっているから。
  - ・「天地無用」の「無用」は「してはならないこと」という意味だが、最近はこの言葉を用いずに「禁止」という言葉を用いたり、もっと丁寧に「……しないでください」などと書かれたりすることが多いから。このように解答した生徒は、目的に応じて、文章の内容の一部を捉えることはできているが、文章の構成や展開を踏まえ、必要かつ十分な内容を捉えることができていない。
- 解答類型3の反応率は18.8%である。具体的な例としては、以下のようなものがある。

(例)

- ・「天地無用」は「天地を逆にすること無用」の「逆にする」という部分が省略された言い方になっているので、その省略部分に気付かなければ、「無用」の意味は「役に立たないこと。いらぬこと」や「用事が無いこと」に取られかねない。その結果、「天地はいらぬ＝上下は気にしなくていい」、「天地に用事はない＝天地は関係ない」と解釈されることになりやすいから。このように解答した生徒は、目的に応じて、文章の内容の一部を捉えることはできているが、文章の構成や展開を踏まえ、必要かつ十分な内容を捉えることができていない。

○ 解答類型4の反応率は46.9%である。具体的な例としては、以下のようなものがある。

(例)

- ・「天地無用」は、本来、誤解があってはならない注意喚起の言葉ですから、見過ごせない結果であるといえるかもしれません。
- ・字面だけを見ても、そのことは分かりませんから、本来の意味で読み取るのは難しいでしょう。
- ・「無用」の意味は「役に立たないこと。いらぬこと」や「用事が無いこと」に取られかねない。その結果、「天地はいらぬ＝上下は気にしなくていい」、「天地に用事はない＝天地は関係ない」などと解釈されることになりやすいから。
- ・「天地無用」という言葉を誤った意味で解釈してしまう人がいる理由は「無用」という言葉を「役に立たないこと。いらぬこと」や「用事が無いこと」という意味に取ってしまったからです。
- ・「天地無用」という言葉は、いつも荷物を取り扱っている人や、意味を知っている人にはごく当たり前のもかもしれないが、初めて目にした場合には解釈が難しい表現だから。

このように解答した生徒は、文章中の表現を用いて書いているが、目的に応じて文章を読み、必要な内容を捉えることができていない。

(例)

- ・無用の「無」という文字に目がいってしまい、天地無用を天と地が無い、つまり上と下は関係ないと捉えてしまう人が多いから。
- ・「天地無用」は辞書によって書かれている意味が違うから。このように解答した生徒は、目的に応じて文章を読むことができていないものと考えられる。また、文章に書かれていることを誤って捉えているものとも考えられる。

### ③指導の改善事項 目的に応じて文章の内容を読み取る

目的に応じて文章の内容を的確に読み取るためには、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、文章の構成や展開を捉えて内容を理解するように指導することが大切である。その際、段落ごとに内容を捉えたり、段落相互の関係を正しく押さえたりしながら、更に大きなまとまりごとに、文章全体における役割を捉えるように指導することが重要である。また、図表などが示されている文章を読む際は、文章と図表などとの関連を捉えたり、書き手の意図やその効果について考えたりするように指導することが大切である。

指導に当たっては、平成23年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B2一、三に係る授業アイデア例「文章の内容を『Q&A集』の形式で紹介する。」、平成24年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A6一に係る授業アイデア例「文章の展開に即して内容を捉えることができるようにする。」も参考になる。

(参照)

- 「平成23年度【中学校】授業アイデア例」P.3～P.4 「4年間のまとめ【中学校編】」P.96～P.97
- 「平成24年度【中学校】報告書」P.148

※出典等

- ・文化庁国語課『文化庁国語課の勘違いしやすい日本語』（平成27年12月幻冬舎）による。

## 国語B ② 資料を作成して発表する

### 設問三

- ①趣旨 全体と部分との関係に注意して相手の反応を踏まえながら話すことができるかどうかをみる。  
 ◆学習指導要領における領域・内容  
 [第1学年] A 話すこと・聞くこと  
 イ 全体と部分、事実と意見との関係に注意して話を構成し、相手の反応を踏まえながら話すこと。  
 《話すこと》

### ②解答類型

#### 3 一

設問の概要	生徒数の割合 (%)	
	国東市	全国
ロボットに期待することを述べて発表をまとめる際の話の進め方として適せるなものを選択する		
◎ 1 1と解答しているもの	51.0	54.6
2 2と解答しているもの	25.5	21.8
3 3と解答しているもの	14.6	10.6
4 4と解答しているもの	8.9	12.5
5 上記以外の解答	0.0	0.0
6 無解答	0.0	0.4

◎が正答

#### ◆正答について

【下書き】には、「走れメロス」の作者である太宰治の他の作品や、太宰治と関係のある作家、「走れメロス」の中の印象に残る表現、別の作品との関連など、様々な角度からの情報が項目立てて示されている。

#### ◆分析と課題

- 解答類型2の反応率は25.5%である。このように解答した生徒は、【資料】の中の3の情報を取り上げながら発表をまとめることが、目的に合った適切な話の進め方であることが理解できていないものと考えられる。
- 解答類型3の反応率は14.6%である。このように解答した生徒は、聞き手の反応や聞き手とのやりとりを踏まえながら話すことが、効果的な話の進め方であることが理解できていないものと考えられる。
- 解答類型4の反応率は8.9%である。このように解答した生徒は、「ロボットに期待すること」を発表するという目的を意識することができていないものと考えられる。なお、解答類型1, 2, 4に反応した生徒は、聞き手の反応を踏まえて話すことについての意識はあるものと考えられる。

### ③指導の改善事項 目的に応じて話の構成を工夫し、聞き手の反応を踏まえながら話す

説明や発表などをする際には、話の全体として伝えたいことを明確にし、それを分かりやすく伝えるために各部分をどのように組み立てるかを考えるように指導することが大切である。また、聞き手の反応から、話の受け止め方や理解の状況を捉え、それらを踏まえながら話すように指導することも重要である。例えば、話し手と聞き手だけでなく、その場の様子を観察する立場を設け、発表の進め方等についてそれぞれの立場から検討するなどの学習活動が考えられる。

指導に当たっては、「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力、判断力、表現力等の育成に向けて～【中学校版】」国語ー1『「体験入部」の報告をしよう』も参考になる。

(参照)

「言語活動事例集【中学校版】」P.19～P.20